

ドイツ語フランス語圏言語文化学教室・都市文化研究センター共催

独仏語圏文化学研究会 「装飾芸術の流通・伝播とその魅力」

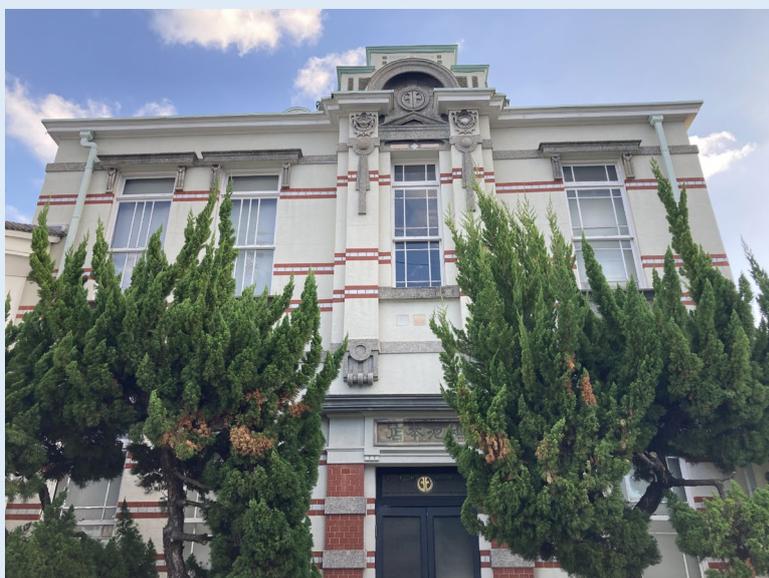
【鴻池組】旧本店見学 + 研究会（ディスカッション）

日程：2023年10月28日（土）見学会 15：00～16：00、研究会 16：20～17：20 頃

1. 【鴻池組】旧本店（アール・ヌーヴォー建築）見学 <定員に達しました>

●集合時間：14時45分（旧本店の建物へ移動、見学は15時から）

鴻池組ESG経営推進室 中島由紀子氏による案内・解説



2. 研究会（ディスカッション）「装飾芸術の流通・伝播とその魅力」

●場所：プラザ・カフェ（西九条駅前） ファシリテーター：白田由樹

独仏語圏文化学研究会では、19世紀末から20世紀初頭の転換期におけるヨーロッパの装飾芸術の動向（ベルギー、フランス、オーストリア、ドイツ）についての共同研究を行っています。その共通の問いのひとつが、「装飾芸術の流通・伝播とその魅力」です。

今回は、研究会メンバーと参加者の交流を兼ねて、それぞれの観点（研究領域だけでなく、個人的趣味・関心など）から、日本近代に大阪で作られたアール・ヌーヴォー建築を見学して連想したこと、感想、意見などを自由に交換しあう会にしたいと考えています。

問い合わせ先：フランス語圏言語文化学専修 白田由樹<yk.shirata[at*]omu.ac.jp>

*at を@に変えて入力してください。